

日本あちこち河川遡行記（第 223 回）

大阪 1-4-1. 第二寝屋川（その 2）平成 30 年 10 月 3 日（水）晴

またまた台風がやって来そうなので鬼の来ぬ間に第二寝屋川の残りの区間の歩きに出かける。近鉄奈良線、八戸ノ里駅で下車。初めて降り立つ駅である。高架駅のホームから降りてくると改札機の手前になんと「吉野家」が有るじゃございませんか。予定しているバスまで 20 分有るので早めの昼を久しぶりの牛井で摂っておく。カウンターの一部は駅外からも利用できるタイプで高松駅のうどん屋と同じだ。

駅南側のバス乗り場に向かうと、駅舎と広場の間には自転車の駐輪場が有り、無数の自転車が上下 2 段でズラリと並んでいる。駅前の一等地にこれだけの規模の駐輪場は凄い。平地の連なる河内平野では電動アシスト自転車はいりません。



01.八戸ノ里駅前広場は自転車がいっぱい

前回帰路に利用した「藤戸小学校前」バス停に、今日は八戸ノ里から徳庵駅前行に乗り、藤戸小まで利用する。5 分ほど待つとあの小型バスがやって来て 3 名が乗車し発車。4 つ目のバス停で下車し遡行を開始する。

藤戸小の東横にはかつての「楠根川」の跡地の緑化道が整備されている。稲田辺りから若江南辺りの第二寝屋川は「楠根川」を拡幅、バイパス化し、バイパス区間では旧川は緑化道になっている。楠根は町名、小学校名に残っている。

歩き始めてすぐの川沿いの道には地元の人達がこの川の面倒を見ていることを知らせる「アドプト・リバー」の看板が立っている。



- 02.「楠根川」は廃川となり跡地は緑化 道に
03.この地区の川は地元の人達が見守
っている

右岸側を南東方向に進むと単径間の鋼橋の桁が中央部が高く、両端（支承）部は低い太鼓状になっている。この川にはこの形態の橋が数多く架かっている橋に生じる応力に応じた合理的な橋桁である。高欄のコンクリート壁に落書きが書かれている。公共施設に罰当たりなことをする輩がいる。

「御厨」の名が付いた橋が連続し、府道 15 号の「新御厨橋」の路面は片側 1 車線で外側が段差の無い歩道で緑色に塗られて車道と区別しているが、交通量の多い幹線道路の歩道がこの形では危ないな一。



- 04.橋桁に落書きをしては閻魔さんに 怒られるよ
05.交通量の多い橋で歩道を車道と同じ
では危ない

八戸ノ里駅に近くなると川沿いの道がいきなりおしゃれな姿に変貌する。田舎から都会に出てきた感じである。車は通れない道を進むと道沿いの家の二階に出入りできるように柵を設けた家が 1 軒だけ有る。ちゃっかりしてはりまんな一。



06.八戸ノ里駅近くに来ると川もおしゃれしているぞ



07.川沿いの遊歩道から直接家に入れるよう

やがて近鉄奈良線が川を越える地点にやって来る。かつては地平を走っていた奈良線は難波から東花園まで地下と高架が連続した線路となった。阪神に負けられまへん？野球では一度も対戦せずに球団は無くなってしまったが。高架線の上を阪神電車が走って行く。反対側に進み振り返ると今度は近鉄の新旧両方の塗装をしたごちゃまぜ編成が通過していく。阪神車と近鉄車では扉の数も車体長も異なり、ホームには○印と△印で乗車位置を変えて表示し対応している。



08.近鉄奈良線を阪神電車が走っている！



09.今度は近鉄の新旧塗装の混結電車が

川には数多くの橋が架かり、市街地が続くので水道橋が多く横断し、ガス、電気の専用橋もある。今日も多くの橋が続き時間がかかる。

中央環状道路と近畿道の橋を見るのは大変である。中環の本線が横断を阻止する構造のため近くの交差点まで行って横断し、また川に戻って反対側の橋を見ることにする。側道の横に小屋と解説版が貼ってあったので見ると、河内平野南部の大雨時の浸水を防ぐための地下河川の説明とここが「若江立坑」で有ることが分かる。最後の下流部が未完成なので本来の機能は発揮できないが、すでに完成した地下空間を貯留水槽として利用して浸水を防いでいることを帰宅してネットで知る。目立たない地味な工作物であるが安全、安心に欠かせない重要なインフラである。



10.平野の浸水を防ぐための地下河川の建設が



11.寝屋川地下河川若江立坑写真
(大阪府資料から)

川は南東方向から南からの流れとなり、ここまで家々が途切れることなく続いてきたが初めて黄金色の田んぼが現れる。

南に進むと本家の「楠根川」が東からの流れに変わる第二に合流している。営業区間を短縮した本家の残部である。歴史的には「恩智川」の増水対応水路が楠根川に合流しているのだ！



12.やっと現れた田んぼだ



13.南から本家の楠根川が合流

[続く]

川は直角に曲がり東からの流れになる。川沿いの道も東向きとなり、彼方の生駒、信貴の山並みが正面に見える。川の南側は八尾市となりこちらの東大阪市と八尾市を橋に来るたびに行き来することを繰り返す。八尾市の川沿いの道を進むとすぐにマンホール蓋が現れる。何がデザインされているか恐る恐る近づくと、これまでの市の絵柄の花と異なり姉さん被りの娘さんが糸車を廻している絵柄である。八尾のかつての名産の綿を紡いでいる姿で、ガンジーでなくて良かった。



14.八尾市に入るとかつての名産綿の紡ぎ作業が

土手の間の距離はあまり変わらないが流れている水はほんの申し訳程度に減っている。府道 21 号の「八幸橋」のすぐ手前のアーチ状の水管橋の水道管の上に関電の電力線が箱に入って乗っかっている。これは初めて見る呉越同舟の橋である。



15.アーチ状の水道管の上におんぶで関電が載っているぞ

八尾側に豊臣秀次の家臣で大阪夏の陣で戦死した「木村重成」の墓があるので立ち寄る。徳川方の井伊に打ち取られた重成の墓は別の場所に有ったが、第二寝屋川の開削に伴いこの地に移設されたと石碑に彫られている。主君に忠実

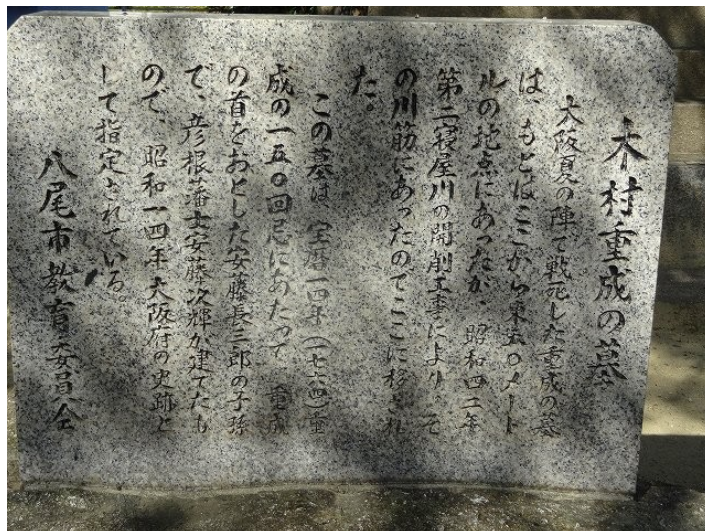
に仕えていれば戦に敗れても後世までその名と墓は残るのだ。周囲の橋の名は西木村橋、木村橋、東木村橋である。木村はん、凄いでんなー。



16.木村重成の墓に立ち寄る



17.川の開削に伴いここに移設された



18.墓の由来の石碑が有る

八尾側には中小の工場が立ち並んでいる。大阪の町工場と言えば東大阪が有名だが、帰宅してから調べると近年は八尾の方が出荷額で東大阪を上回っていると知る。新しい工場は付加価値のより高い物を造っているのだろう。

府道15号の「玉串橋」を超えるとすぐ南の一団高い所から「玉串川」が第二に滝状に流れ落ちている。第二の普段の最上流部はここなのだ。すぐ東側には田植え時に玉串川から農業用に水を流す水路橋が第二を跨いでいる。田んぼ

が少なくなった現在はその役割が減少しただろう。

一直線に伸びる川沿いの道を進むと東に連なる山脈が近づいてくる。高安山（H=487m）の山頂付近には真っ白な気象レーダーが目につく。伊丹の大阪空港に着陸する飛行機はこの山の上から着陸態勢で北西に向かう。



19.「玉串川」がここで第二に吸収される



20.高安山（H=487m）山頂には気象レーダーが

第二寝屋川の源流部？に来ると南北に流れる「恩智川」とT字型の交差点から増水時のみゴム式堰から溢れた水がこちらに流れ込む面白い構造である。交差点の南側の両側には「寝屋川」にも有った広い治水緑地が広がっている。この遊水地と第二寝屋川との二重の洪水対策がなされている。さらに下流部には地下河川と三重の守りである。かつての度々の洪水、高潮に見舞われた地域の安全度は確実に向上している。



21.恩智川が増水した時に正面の堰から水が溢れ第二寝屋川に入る



22.分岐点の南西に広がる遊水場は広い



恩智川には更に増水時の遊水場まで用意



24.溜まった遊水場の水はこの水門から第二寝屋川に放水

ゲートでUターンし、府道15号の橋際の「玉串南」バス停に向かう。近鉄大阪線山本駅と奈良線花園駅を繋ぐ幹線路線なので1時間4本もある。すぐに来た花園行きに乗る。河内平野は大阪から放射状に鉄路は有るが環状の鉄路は大阪市の外郭部を繋ぐおおさか東線だけなのでバスがこれを補完している。尼

崎～大阪空港～吹田北部～高槻～枚方～花園～八尾～松原～堺の環状鉄道がほしい所である。

行先	90 花園駅前行き
時刻	月～金曜用 土曜・休日用
4	13 40 52 19 37 49
7	3 13 23 33 43 53 0 10 22 34 46 58
8	3 13 24 34 43 53 10 22 34 46 58
9	5 20 35 50 10 25 40 55
10	5 20 35 50 10 25 40 55
11	5 20 35 50 10 25 40 55
12	5 20 35 50 10 25 40 55
13	5 20 35 50 10 25 40 55
14	5 20 35 50 10 25 40 55
15	5 20 35 50 10 25 40 55
16	5 20 35 50 10 25 40 55
17	5 20 35 50 10 25 40 55
18	5 20 35 50 10 25 40 55
19	5 20 35 50 10 25 40 55
20	5 20 35 50 10 25 40 55
21	5 24 40 15 35
22	5 24 40 0 29 45

25.玉串南バス停から花園行き近鉄バスに乗車

花園駅前に着き駅までの道路のマンホールを見ると、東大阪市の絵柄では無くご当地花園と言えばラグビーの聖地「花園ラグビー場」のラグビーである。こうでなくちゃあー。もう少し迫力のある姿にしてほしかったな。



26.花園と言えばラグビーの聖地でこれだ

近鉄鶴橋駅から JR 環状線に乗り換える乗り換え口にはズラリと多くの改札機が並んで壮観である。子供のころ近鉄鶴橋駅に降りると駅の放送が「つうるはしー、国鉄線大阪、天王寺方面乗り換え！」と独特の発音と節回しで放送していたなー。今日もほんとに多くの橋に出会ったなー。



27.自動改札機がずらりと並んだJR、近鉄鶴橋駅の乗り換え口

本日の歩行距離：8.3km。調査した橋の数：46。

総歩行距離：10,093.6km。総調査橋数：12,527。

使用した 1/25,000 地形図：「大阪東北部」（京都及大阪 8 号-4）、「大阪東南部」（和歌山 5 号-3）